

2023年9月19日

報道機関 各位

長崎大学学生ボランティア団体「農楽部」を中心とした
長崎大学生約40名が千々石の里山で稲刈りボランティア活動を実施



6月に実施した田植えの様子(6/10)

2023年10月8日(日)長崎県雲仙市千々石にて、長崎大学学生ボランティア団体「農楽部」を中心とした長崎の大学生約40名が、稲刈りボランティア活動を別紙スケジュールの内容で実施します。

この企画は「ボランティアバス 千々石の里山 再生プロジェクト～稲刈り編～」と題し、今年6月に実施した「田植え」に続いての企画となります。注) 6月に田植えを実施した稲は成長が遅いため、別の棚田で成長した稲を刈るボランティアとなります。

今回の目的としては、農業や古民家再生に興味のある学生が千々石の里山での稲刈りに参加し、中山間地域が抱える問題(耕作放棄地、農業従事者の高齢化、若い世代の都市流出)を実際に見て、聞いて、体験し、地域の活性化に貢献することです。

「ボランティアバス」とはボランティア活動への初めの一步を踏み出すきっかけとするため、大学で貸切バスを運行し、多くの学生が一堂に会してボランティア活動を経験するものです。

この機会にぜひ、取材をいただければ幸いです。取材を行う場合は、事前に下記問い合わせ先に取材に向かう旨をご連絡いただき、当日は現地での集合になります。場所が分かりにくい場合は、詳細地図をお送りしますので、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学ボランティア活動支援 やってみゅーでスク

TEL : 095-819-2870 Mail : yatemyudesk@ml.nagasaki-u.ac.jp

【稲刈りボランティア活動 スケジュール】

日時：10月8日(日)10:00～

場所：長崎県雲仙市千々石町庚 3902 番地

参加：ボランティア団体農楽部所属学生 20 名、その他長崎大学生 18 名、純心大学生 2 名

主催：やってみゅーでスク・U-サポ事務局

共催：岳の楽舎

スケジュール：

- 8:00 長崎大学中部講堂前に学生集合・出発
- 9:30～10:00 「岳の楽舎」到着後、事業・作業の説明
- 10:00～12:30 稲刈り・はざ掛け
- 12:30～13:40 昼食、片付け、散策
- 14:00～ オーガニック直売所「タネト」を經由
- 16:00 長崎大学到着・学生解散

【主催：やってみゅーでスク・U-サポ事務局について】

やってみゅーでスク・U-サポ事務局は、学生の人間関係力を醸成するとともに、地域の活性化に寄与することを目的とし、学生と地域をマッチングするボランティア活動支援組織です。長崎市周辺の7大学（長崎大学、長崎県立大学、活水女子大学、長崎純心大学、長崎外国語大学、長崎女子短期大学、長崎総合科学大学）と連携しています。

昨年度から「岳の楽舎」等から、この岳地区のボランティアについて依頼を受けており、畑の整備や田植えなどに学生ボランティアを派遣してきました。

- 2022/ 9/25 畑の整備 5名参加（岳の楽舎主催）
- 2022/10/23 畑の整備・ライ麦種植え 30名参加（やってみゅーでスク主催：ボランティアバス運行）
- 2023/ 3/21 ライ麦畑整備・人参収穫 16名参加（長崎県中山間地域ボランティア支援センター主催）
- 2023/ 6/10 田植え 33名参加（やってみゅーでスク主催：ボランティアバス運行）



10/23 畑の整備の様子

【共催:岳の楽舎について】

「岳の楽舎」を主宰する竹村裕子さんは、日本の棚田百選にも選定された美しい景色で知られる千々石の里山、「清水棚田」との出会いをきっかけに、2022年から千々石町岳地区で田や畑の経営に着手しました。ここには約50年間にわたり耕作が放棄されている土地があり、竹村さんはこの土地を活かしたい、という思いから、里山を一から整備しています。

また、竹村さんは、古来の手作業による農作業に時間をかけ、機械化に頼らない方法を採用しています。この取り組みにより、失敗を経験しながらも、何か新しい喜びや自然の恵みが生まれる瞬間を感じることができる場を提供しようとしています。

しかしながら、雑草の処理や農作業において機械化を採用しないため、作業は手間と時間がかかります。また、活動は竹村さんの仕事が休みの日にしか行えないため、人手不足が大きな課題となっています。

【学生ボランティア団体 農楽部 水産学部3年 内田代表コメント】

「農楽部」は「農業を楽しむことを通して、長崎の農業と食育を盛り上げる」ことを目的に活動する学生ボランティア団体です。幅広い学年、学部の学生が52人所属しており、普段は長崎大学文教キャンパス内に開墾した畑で有機農業を実施し、育てた野菜の収穫体験や、子ども食堂への寄付をおこなうことで地域に貢献しています。また、学外での活動も積極的に行っており、長崎が抱える農業や食の課題に取り組む方々とコラボし、耕作放棄地の整備などを通して、これら課題の解決に向けて動いています。

「岳の楽舎」との活動もそうした活動のひとつです。長年眠っていた風光明媚な岳地区に魅せられ、有機農業を通してその魅力を人々と分かち合いたいという竹村さんの強い思いに共鳴し、月一回、岳地区を訪問してお手伝いをさせていただいています。岳地区の整備に取り組みつつ、私たちもその土地の豊かさを全身で堪能しています。また、竹村さんをはじめとする「岳の楽舎」のみなさんは温かく迎えてくださり、メンバー一同楽しく、リラックスした気持ちで活動しています。

通常の活動と異なり、農楽部のメンバーではない学生も多く参加するため、より岳地区、そして自然や農業の魅力を分かち合えるような楽しい時間になりたいと考えております。